



矢加部 茂晴 議員

## 幼児教育・保育の質を高めるには

**答** 保育士の研修の充実が大事だ

**問** 「質の高い幼児教育・保育」とは何か。  
**子育て支援課長** 子供たちが心身ともに満たされ、より豊かに生きていくことを支えることが、保育の質の根幹にあると思う。保育の質の向上のために

は、保育士の資質が大事である。そのためには保育士の研修が重要になってくる。

### 研修成果や課題を共有するために

**問** 市内の保育所や幼稚園でこれまで蓄積された研修成果を筑後市全体で共有すべきだと思う。また、子供たちが抱える問題が多様化、複雑化している。これらに対応していくために市内に拠点を設けることはできないか。

**子育て支援課長** 筑後保育所が中心的機能を担うべきであり、そこに今後の存在意義があると思う。

### 保育士確保のために保育士等への支援を厚く

**問** みやま市は保育士確保のため、自己研さんのための研修費や家賃補助を検討していると聞く。  
**子育て支援課長** 保育士確保に苦慮している園長



保育所の充実、強化に向けた取り組みが求められる

から家賃補助に取り組みたいとの話を聞いたことがある。財政担当とは十分協議しなければならぬが、前向きに検討したい。  
**市長** みやま市の話を聞いた上で、調査をしたい。

## これからの地域バス交通は



辻 義満 議員

**問** 現在3校区で運営しているコミュニティバス。他に検討しているところはあるか。

**都市対策課長** 二川校区では、平成30年度の早期開始に向け、最終的な準備が進んでいる。他に西牟田、水田、筑後北各校区と前津行政区が検討中である。

**問** 今後の支援は。  
**都市対策課長** 第五次総合計画の目標を達成するために、特に取り組んでいく事業の一つだ。必要に応じて支援していきたい。

### まちづくりと連携した巡回バスが必要では

**問** 巡回バスの導入は。利便性、効率性、採算性を踏まえる必要がある。特に路線バスやタクシーなど、民間の交通事業者への影響が大きく、加えて自家用車に依存した現在の状況では、採算のとれる事業とはならない。

**問** 高齢者の交通事故が増加しており、免許証返納も増えることが予想される。今後、コミュニティバス事業を広げるだけでなく、次の展開が必要では。

**市長** 市全域で考えないといけない。市民の交通手段の確保として、コミュニティバスだけではな

**答** 交通事業者や市民と協議していく

く、免許証返納と併せた取り組みなども含めて検討すべきだと考えている。



校区コミュニティバス「まじつばら号」